

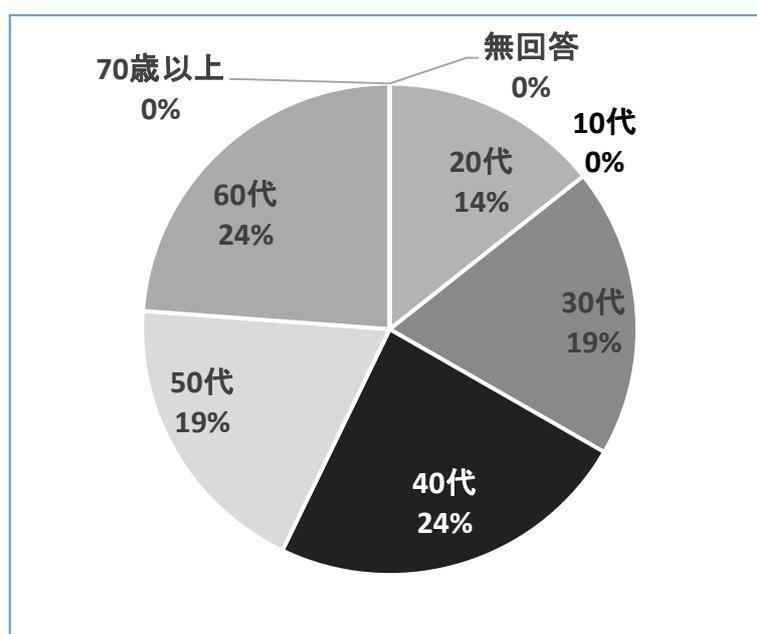
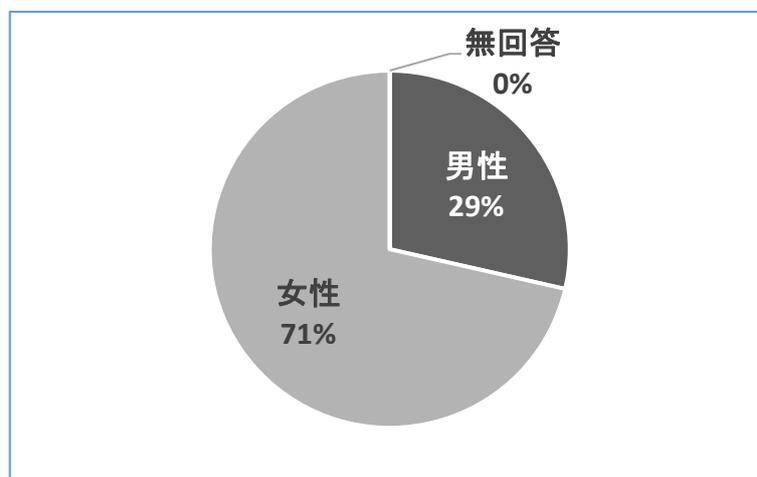
昭和村商工会 創業塾アンケート

➤ 開催日及びアンケート有効回答数

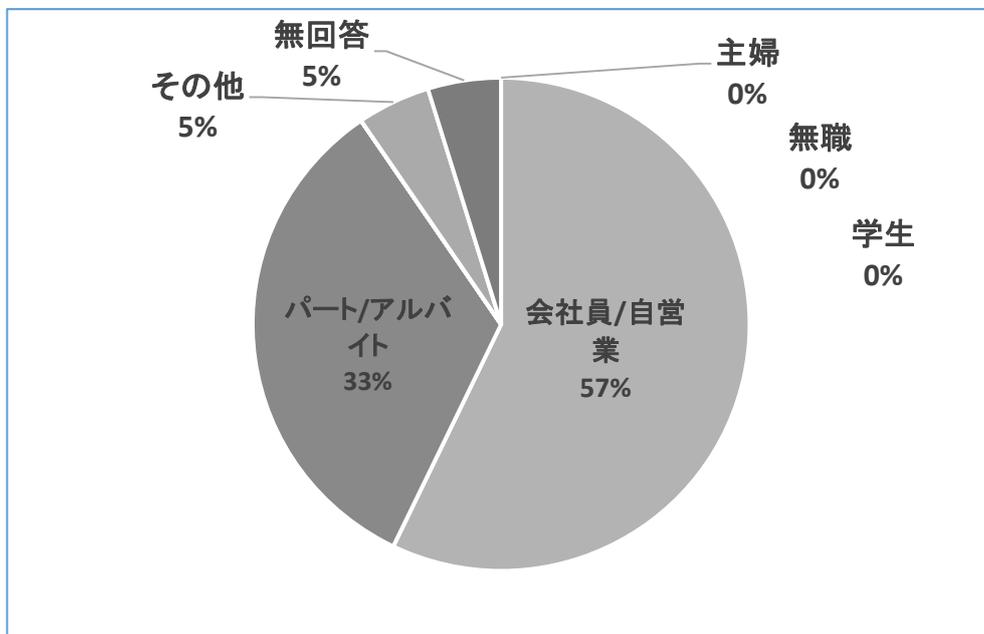
➤	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	12月12日(月)	12月19日(月)	12月26日(月)	
回答数	21通	16通	18通	

➤ 回答者データ

第1回目の回答者を性別で見ると、男性29%、女性71%であった。年代別に見ると、40歳代と60歳代が24%と同率で合わせて約過半数を占め、続いて30歳代と50歳代が同じく19%、20歳代が14%という結果になった。

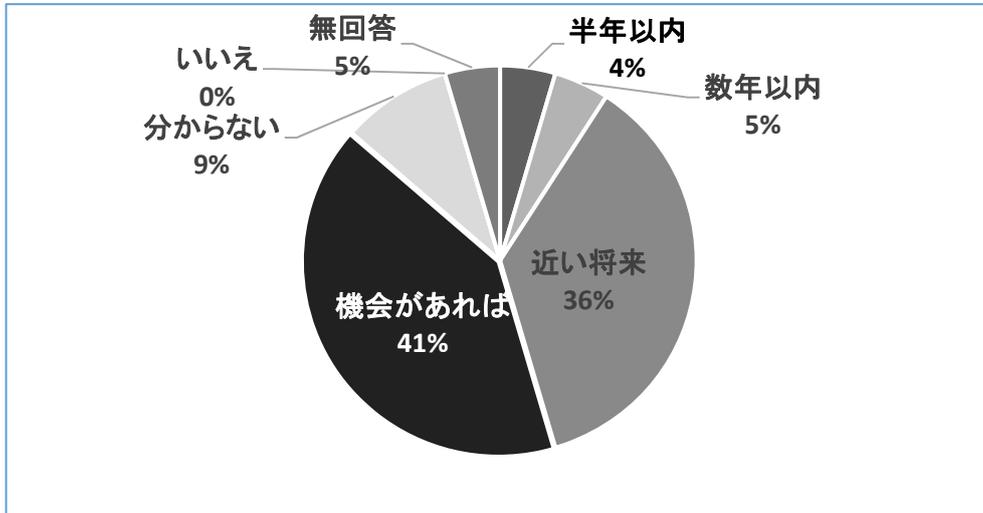


回答者の職業を見ると、「会社員/自営業」が 57%、「パート/アルバイト」が 33%で、現在何らかの形で仕事をしている回答者が合わせて 9 割を占めるという結果になった。続いて「その他」が 5%、「無回答」が 5%となっている。「主婦」「学生」「無職」は 0%であった。



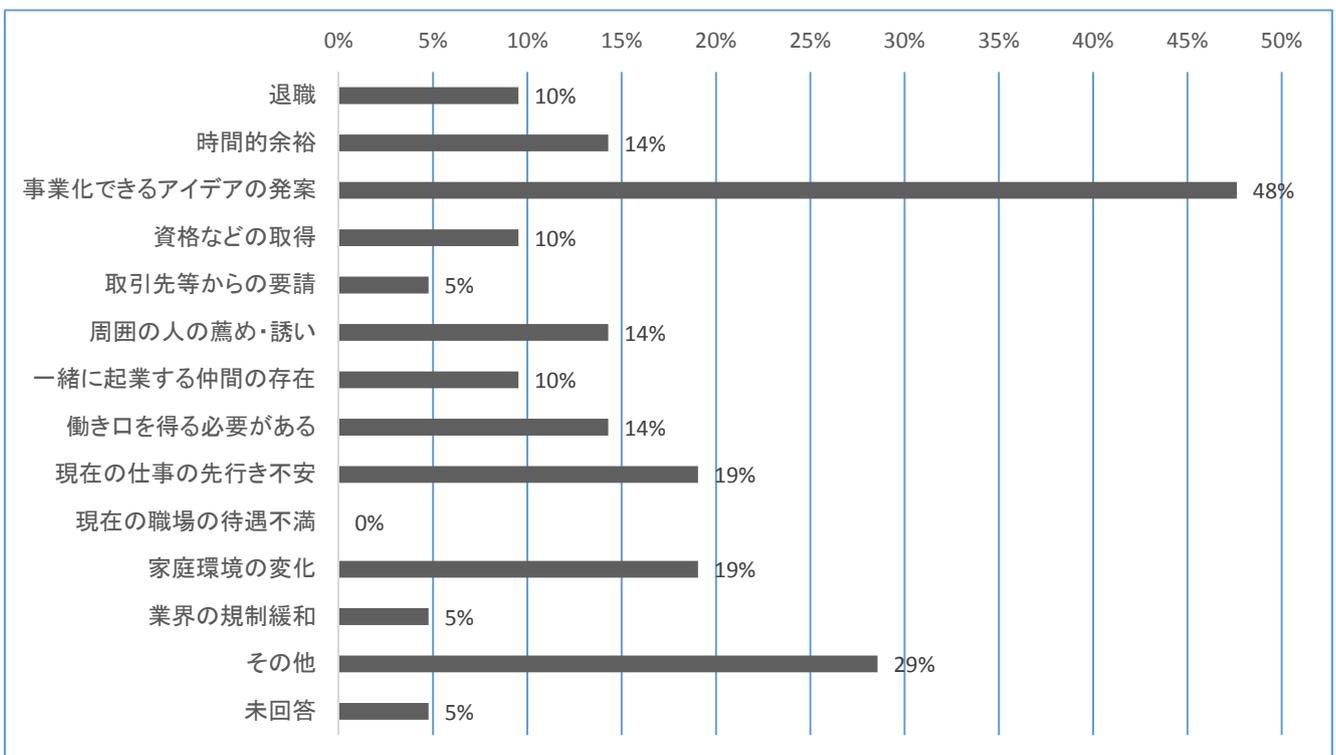
➤ 起業・創業の検討内容

【現在、起業・創業を検討していますか？】という起業・創業のタイミングに関しては、「機会があれば」が41%、「近い将来」が36%、「分からない」が9%と続いていた。他方、「数年以内」と答えた人は5%、「半年以内」が4%となり、現実的に起業・創業を検討していると見られる回答は合わせて9%に及んだ。

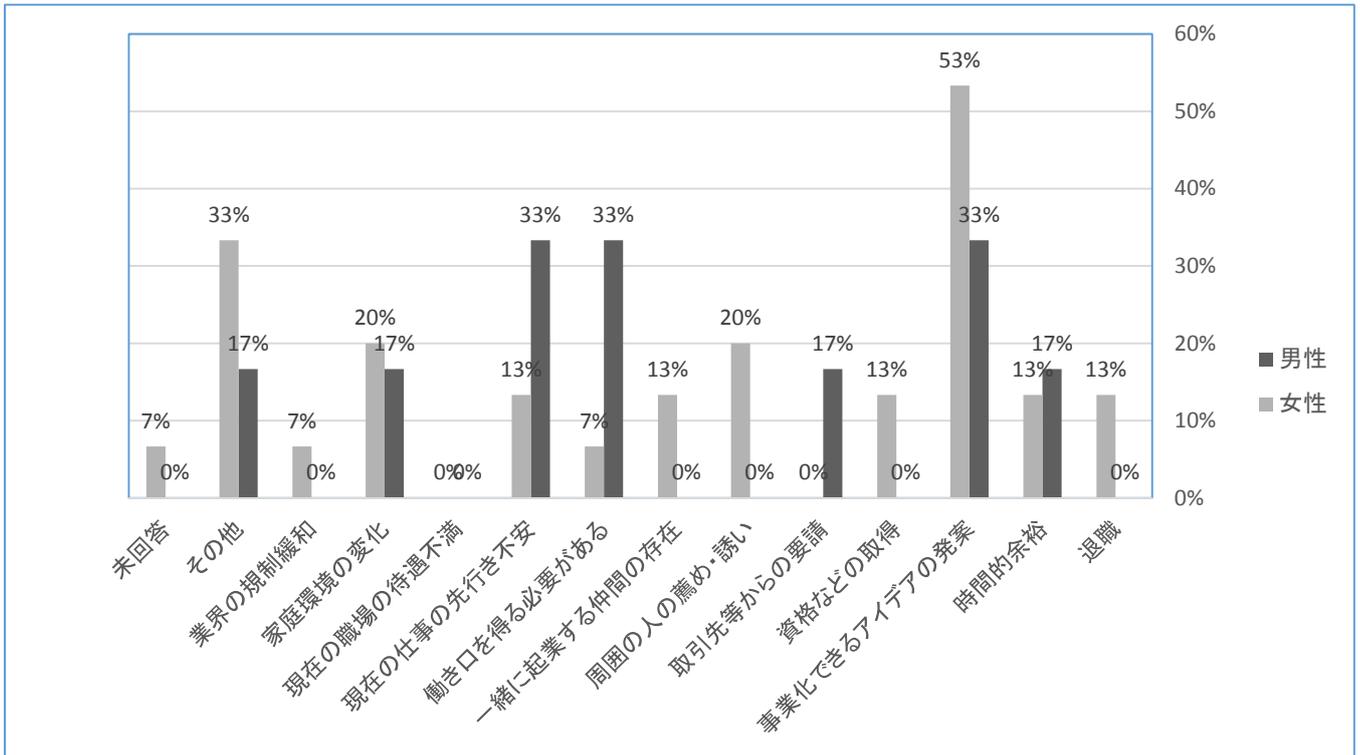


➤ 起業・創業を検討するきっかけ

【起業・創業を検討されるきっかけは何ですか？（複数回答可：総回答数 42）】の問いでは、「事業化できるアイデアの発案」が48%となり、約過半数を占めていた。続いて、「その他」が29%（6人）、「現在の仕事の先行き不安」、「家庭環境の変化」が19%、「時間的余裕」、「周囲の人の薦め・誘い」、「働き口を得る必要がある」が14%、「退職」、「資格などの取得」、「一緒に起業する仲間の存在」が10%、「業界の規制緩和」、「取引先等からの要請」が5%、となっていた。

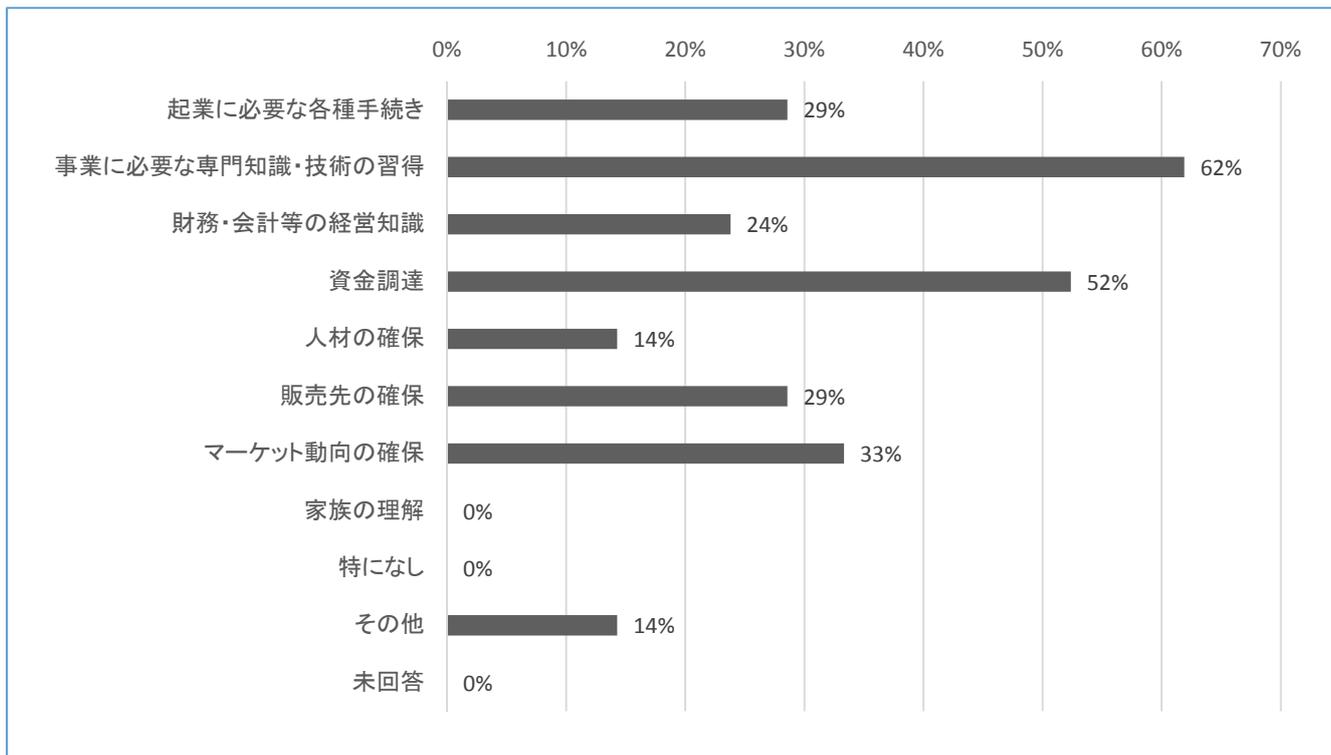


次に、起業・創業するきっかけを性別に見ると、「事業化できるアイデアの発案」が女性で53%と突出して高くなっている。逆に男性の回答が女性を大きく上回る項目は「働き口を得る必要がある」（男性33%：女性7%）「現在の仕事の先行き不安」（男性33%：女性13%）「取引先等からの要請」（男性17%：女性0%）で、男性の場合、現在の就業先に関与して、起業・創業を目指すケースが多いことが分かった。このようにグラフを俯瞰すると、男性はゼロ回答であるのに対して、女性の回答が得られた項目数は14項目中6項目もあり、女性の方が様々なことをきっかけにするとということが分かる。

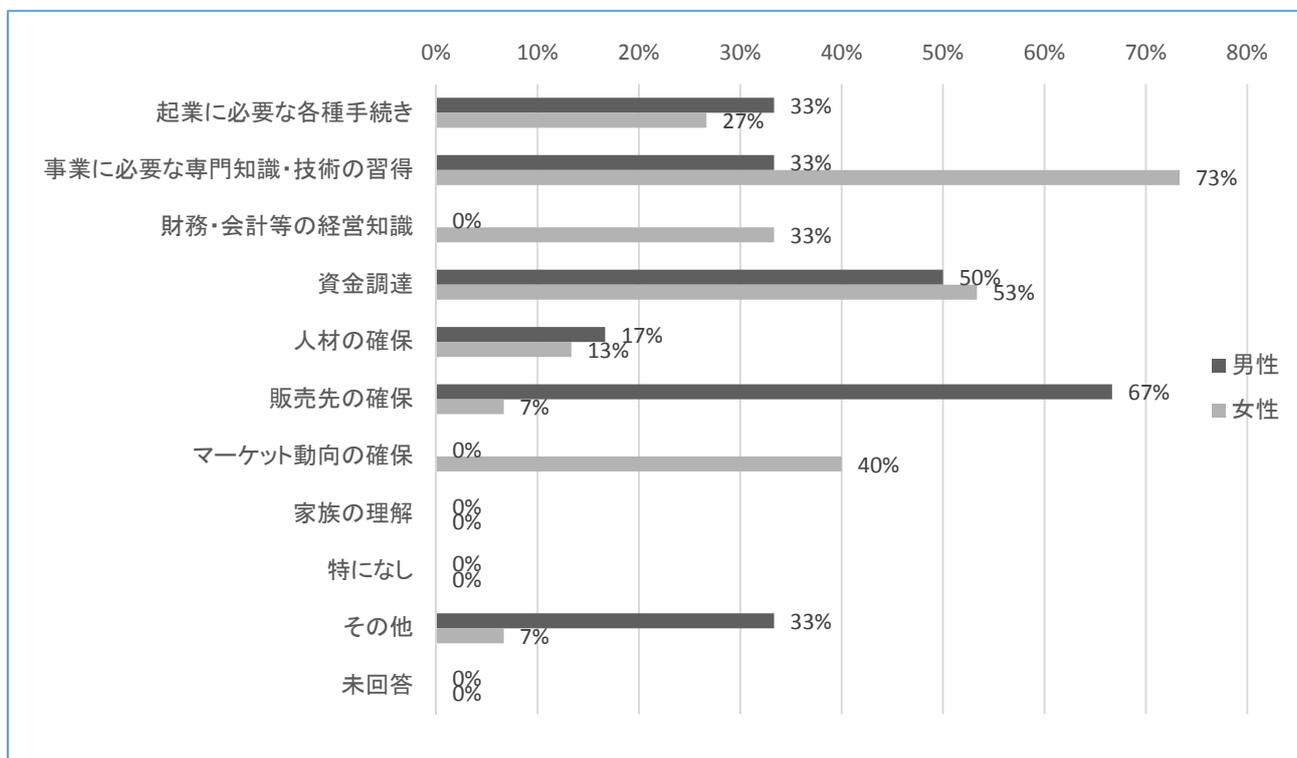


➤ 起業・創業に対する不安

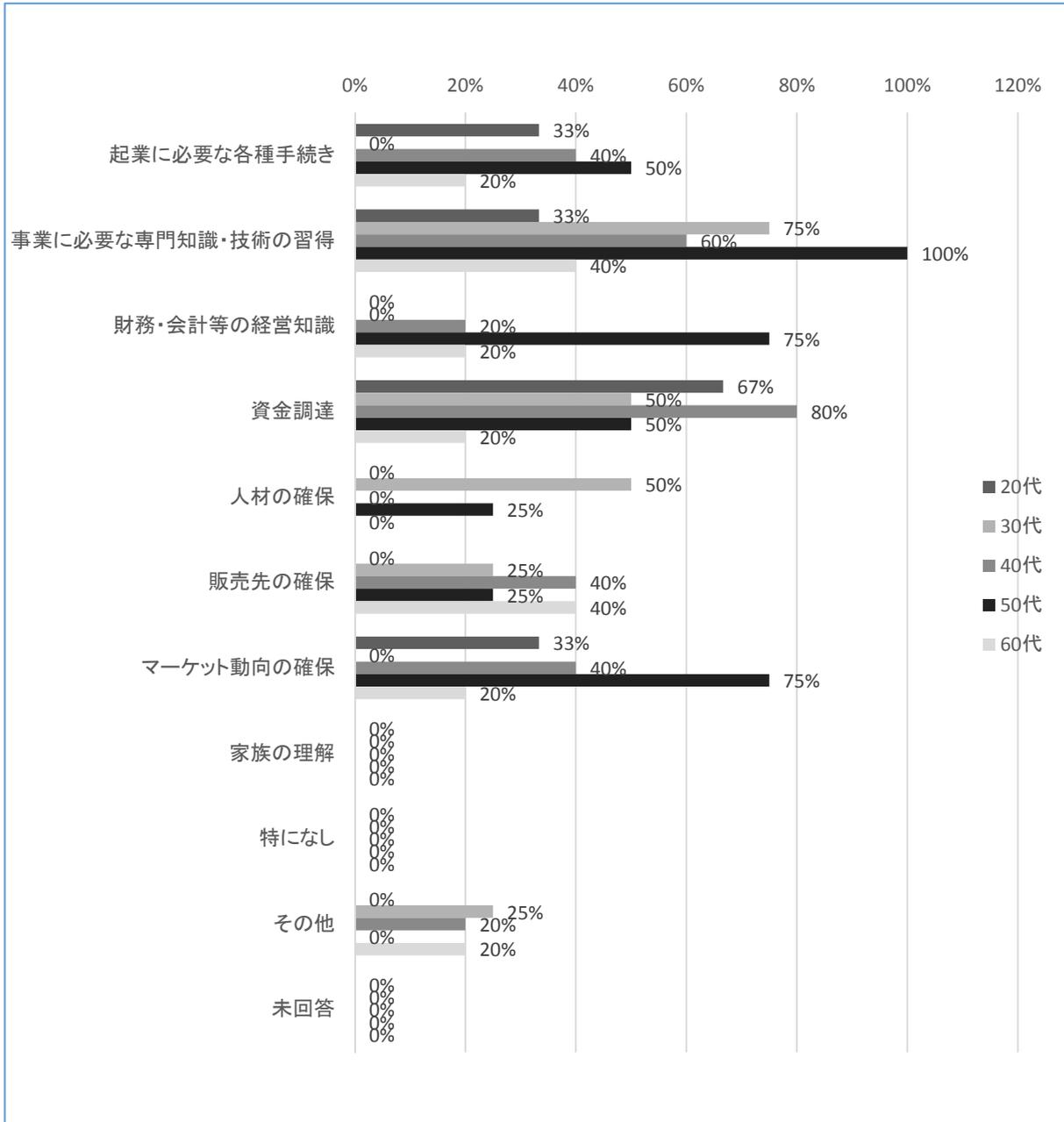
【起業・創業に対する不安は何ですか？（複数回答可：総回答数 54）】の問いでは、「事業に必要な専門知識・技術の習得」が62%、「資金調達」が52%と過半数を上回っていることが分かる。次に、「マーケット動向の確保」が33%、「起業に必要な各種手続き」と「販売先の確保」が29%、財務・会計等の経営知識が24%、「人材の確保」と「その他」が14%となっており、「家族の理解」、「特になし」、「未回答」は0%であった。なお、「その他」の回答に対しては、具体的に「立地」と「設備」が不安だというコメントが寄せられていた。



性別を見ると、「事業に必要な専門知識・技術の習得」は女性の約 7 割が不安に思うのに対し、男性は約 3 割に留まっている。他方、「販売先の確保」を見ると、男性の約 7 割が不安に思うのに対し、女性は 1 割に満たない結果となっており、対照的な結果となっていることが分かる。また、「財務・会計等の経営知識」は女性で 33%の回答を得たのに対し男性は 0%、「マーケット動向の確保」についても女性は 4 割が不安と答えたのに対し男性は 0%である。性差が 10 ポイント未満の項目は「起業に必要な各種手続き」、「資金調達」、「人材の確保」に絞られていた。

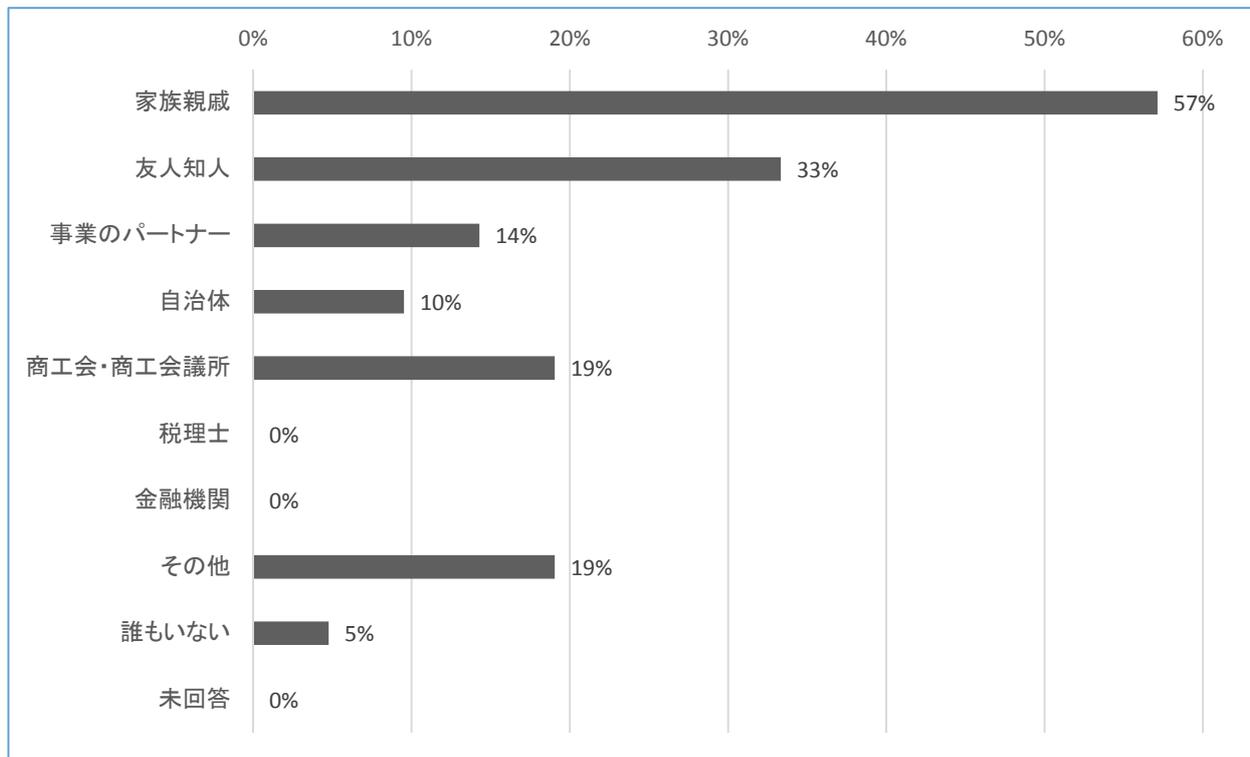


年齢別に見ると、50代の回答率が高く、起業・創業への不安が感じ取れる。特に「事業に必要な専門知識・技術の習得」については50代の回答者全員が不安としている。また「財務会計の知識」については、50代の75%が不安と回答したのに対し、40代60代では20%、20～30代の若者については0%であることから、他の年代に比べて不安を感じている傾向が強い。「資金調達」については、20代で67%、30代で50%と過半数を占め、40代では80%で頂点に達し、50代では50%、60代では20%となっている。他の項目については、年代ごとにバラつきが見られるものが多い。

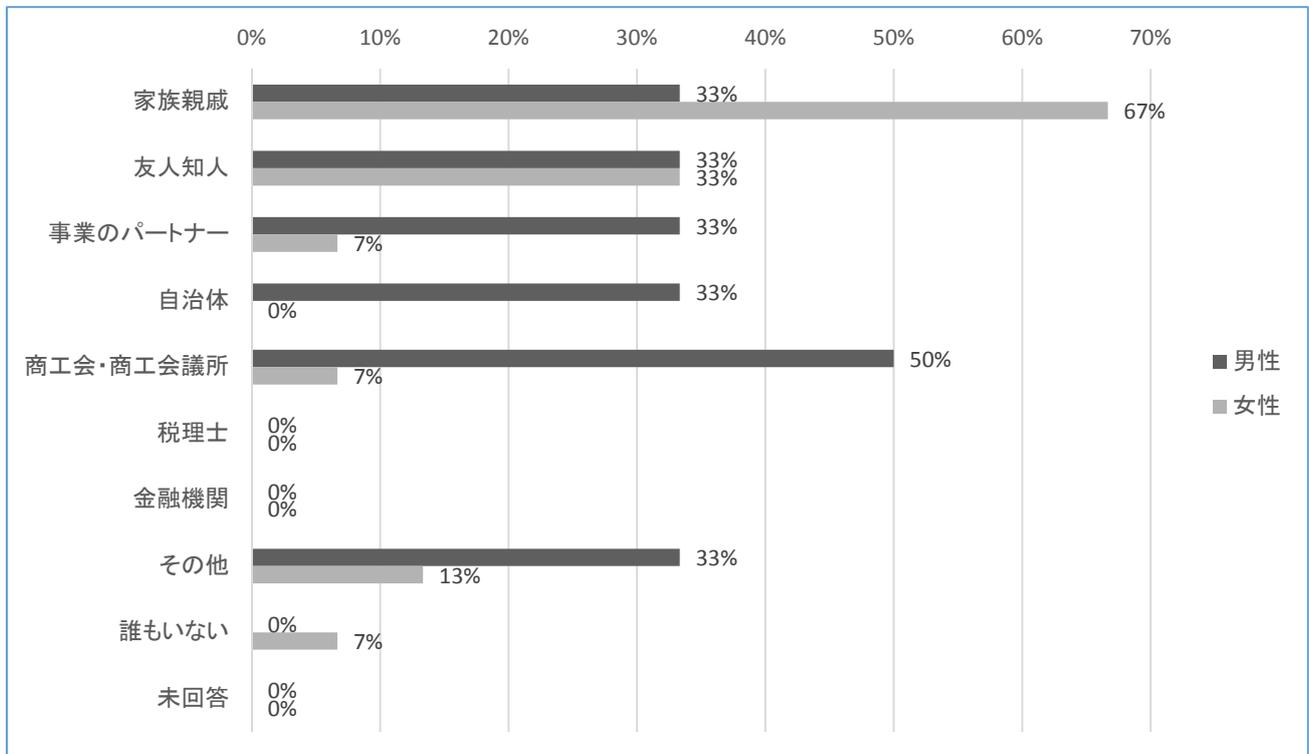


➤ 起業・創業に向けての相談相手

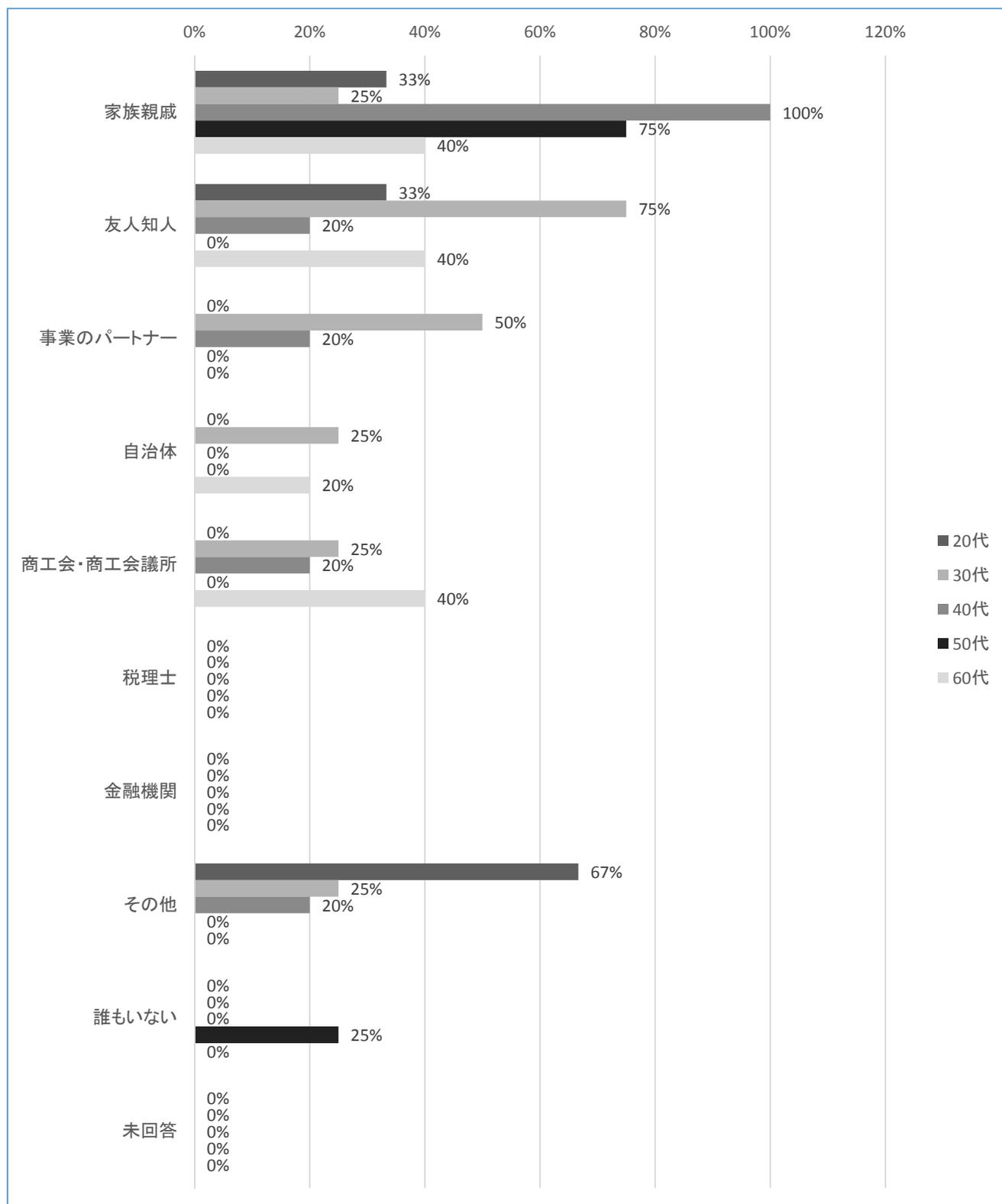
【起業に向けての相談相手は誰ですか？（複数回答可：総回答数 33）】の問いについては、「家族親戚」が 57%と過半数を越えており、次いで「友人知人」が 33%となっていることが分かる。次に、「商工会・商工会議所」と「その他」が同率で 19%、「事業のパートナー」が 14%、「自治体」が 10%と続き、「誰もいない」と回答した人も 5%いた。「税理士」「金融機関」「未回答」は 0%であった。



性別を見ると、女性は「家族親戚」が67%と断トツで、男性は「商工会・商工会議所」が50%と男性で回答を得た項目の中では唯一過半数を占める回答となった。「友人知人」は男女ともに33%と性差がなかったが、「事業のパートナー」では男性が33%に対し女性が7%、「自治体」では男性が33%に対し女性が0%という結果になった。



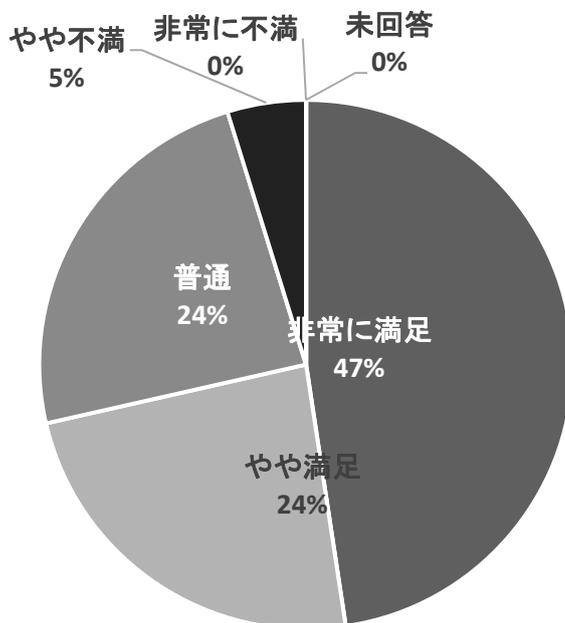
年齢別に見ると、20代では「その他」が67%、30代では「友人知人」が75%、40代及び50代では「家族親戚」が最も高い回答となっていた。しかしながら、60代になると、「家族親戚」「友人知人」「商工会・商工会議所」が同率で40%となっていた。



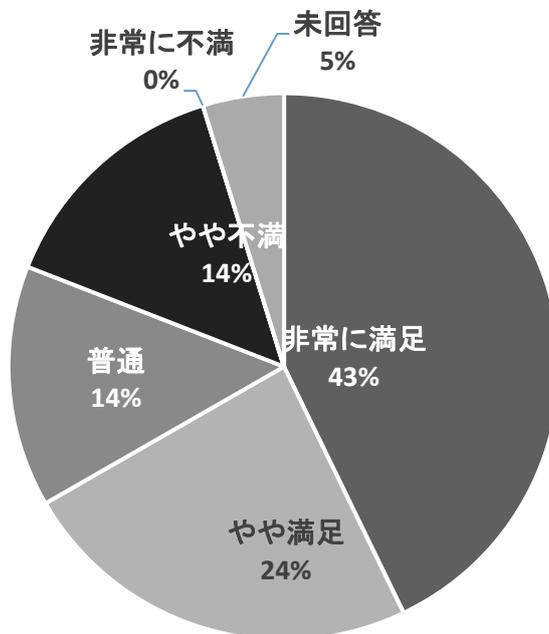
➤ 第1回創業塾の満足度

前半と後半共に「非常に満足」「やや満足」を合わせると過半数を超える結果となった。「やや不満」の回答は前半5%、後半14%という結果となり、後半の方がやや不満の残る結果となった。

【前半：実習】

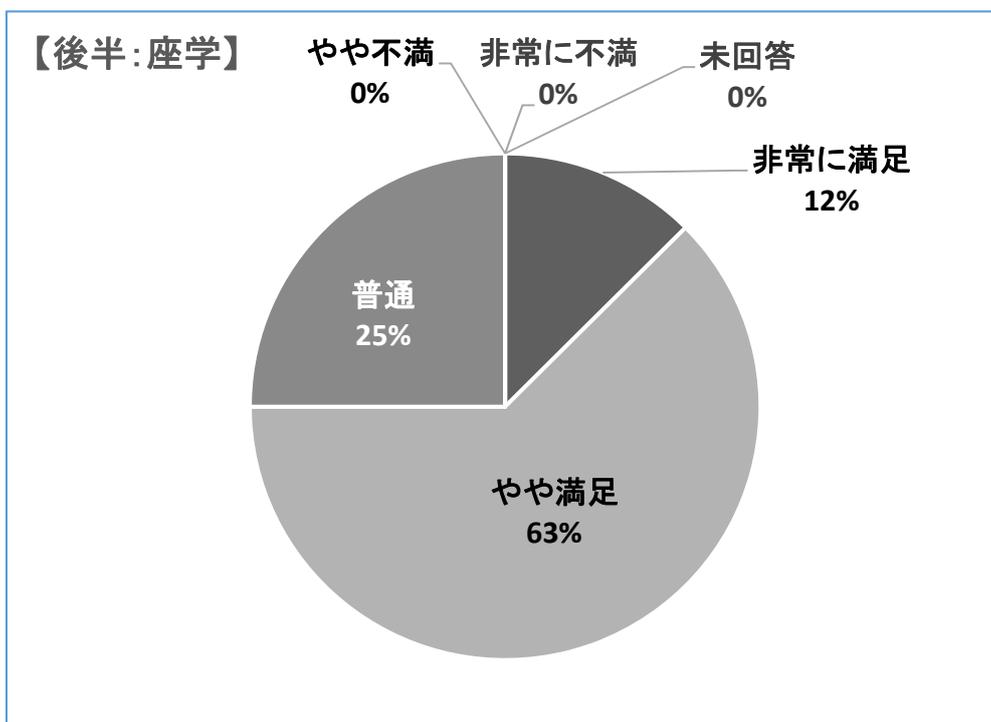
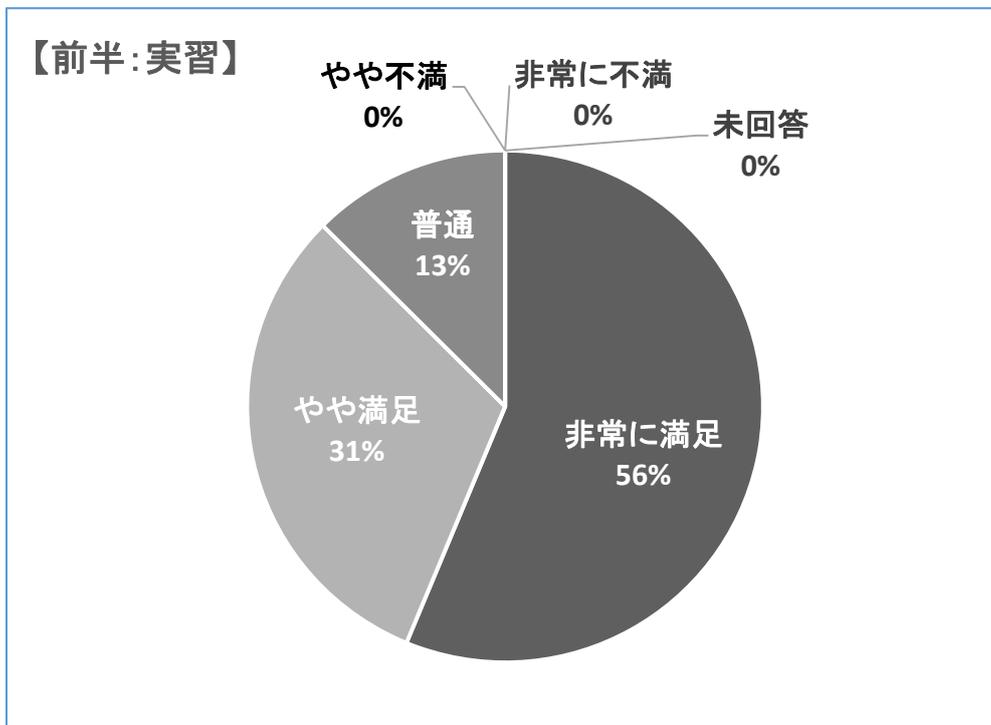


【後半：座学】



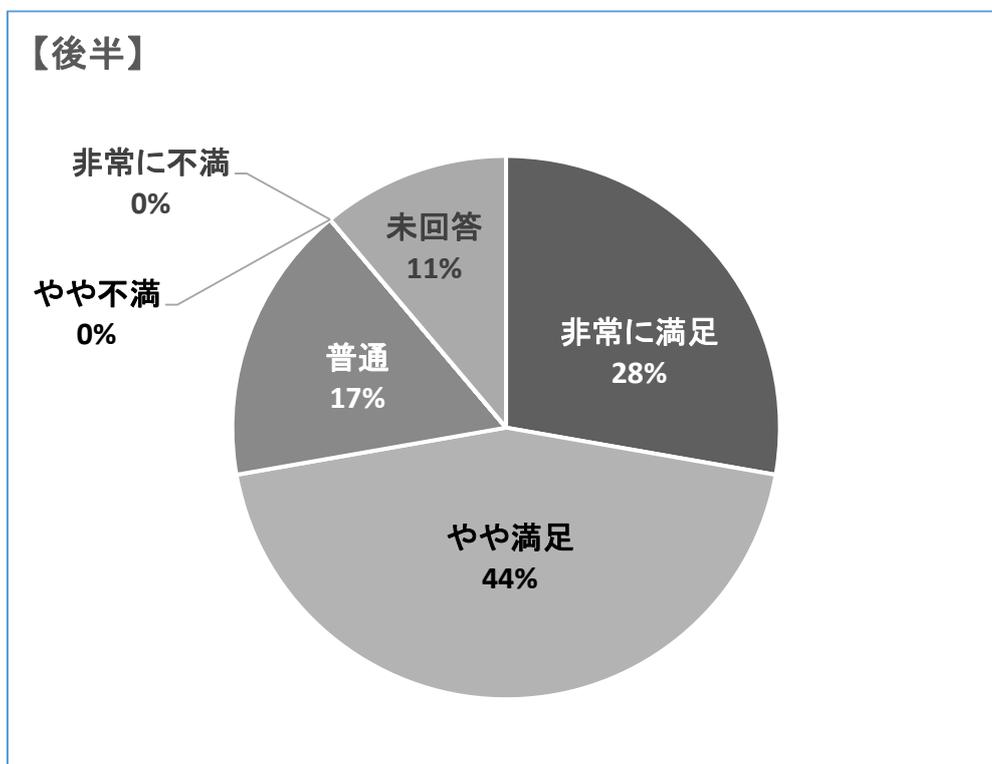
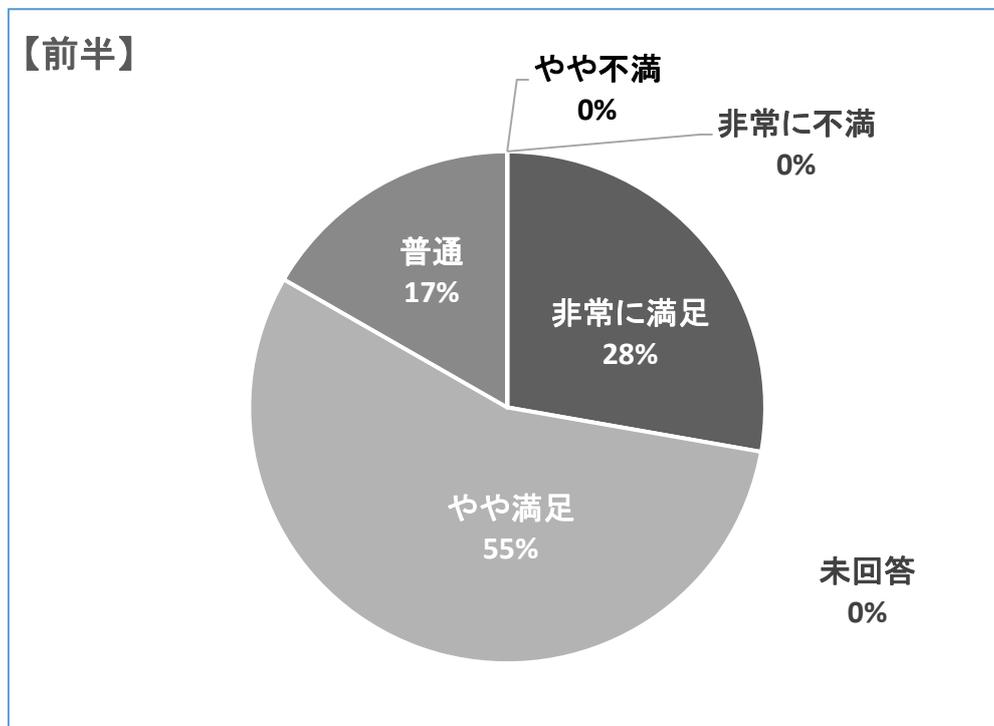
➤ 第2回創業塾の満足度

満足度については、前半は「非常に満足」「やや満足」を合わせると8割を超え、後半も2項目を合わせ75%と前回に比べ満足度が高い結果となった。



➤ 第3回創業塾の満足度

満足度については、前半は「非常に満足」「やや満足」を合わせると8割を超え、後半も2項目を合わせて7割を超えており、満足度が高い結果となった。



➤ 第1回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

- ✓ なにかヒントがつかめそうな気がする。(40代 女性)
- ✓ 実習はわかりやすく楽しくできました。細かな点なども丁寧に説明して下さりとてもよかったと思います。座学は時間が足りなかった様子が伺え、少し残念でした…が勉強になりました。演習なども組み込まれていると理解が深まるようにも思えます…。(30代 女性)
- ✓ 前半は料理教室的なニュアンスが強すぎ。しかも、パンというものすごく限定されたものだったので、レクリエーションとしては良いのかもしれないが、自分も含め参加者のニーズとそぐえてないのではないと思う。又、後半は、概念的な話が先行し、しかも、創業の方向性の規模が大きく法人化を前提とした中小の企業創業のファクターが大きすぎるようにも感じられました。実際の外の参加者のニーズ、目標がどこにあるのかわからないが、そこを前もってアンケートなどした方がよかったのではないのでしょうか。(40代 男性)
- ✓ 座学はもっと現実的な話を詳しく話してほしい。補助金や創業に必要な重点になること。(30代 男性)
- ✓ 自分達でパン作りの工程を学び焼きあがったパンを食べることで作る楽しみを実感できた。その反面、座学の時間が一時間では内容に対して時間が少なく大学の講義のようで、チョット残念でした。(40代 男性)

➤ 第2回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

- ✓ 小針先生の話が面白かった。(40代 男性)
- ✓ 実習では新しい食材など、色々情報が多く勉強になりました。(30代 女性)
- ✓ こんにゃくを作っているのに、こんにゃくの長所、短所をすぐに答えられず、これではいけないと思った。商品に対するメリット、デメリットを把握することは、基礎の基礎だと思った。何も目的なく受講しては身にならないので、はっきりしたビジョンを持つ事が必要と感じた。(50代 女性)
- ✓ <前半>消費者がどういうものを求めているのか、とても参考になりました。米油がいいと聞いたので研究してみたいと思いました。<後半>全体像をつかむことができた。家に帰ってもう一度見直したい。(60代 男性)
- ✓ こんにゃくの新しいメニューが覚えられて良かった。家でも作りたと思います。座学は素人にもわかりやすく話していただけて勉強になりました。(50代 女性)
- ✓ メニュー開発の実例をふまえて進められたので、解り易かった。とても参考になる「キーポイント」が提示されていて、応用が効くお話しでした。そこからのつながりの料理試食も、ただメニューの紹介というよりも、面白かった。(40代 男性)
- ✓ これからはやるスーパーフードと地域資源活用事業の支援があることが知れてよかったです。(20代 女性)

➤ 第3回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

- 具体的な例での説明でわかりやすかった(40代 女性)

- web 利用は少々こわいような気がします(50代 女性)
- 具体的な実践方法で、すぐにでも取り入れられます!分かりやすく、よかったです。(30代 女性)
- <前半>TTP 徹底的にパクる。まずは、世にある物、出回っているものをまねる。工夫することから始めることが大事と思いました。<後半>盛りだくさんで不消化となってしまった。後でなく読み直して消化したい。(60代 男性)
- 前半:大変、清潔感のある、誠実な講義だと思いました。参加者全員が理解できるように思います。宿題は人によってめんどろかもしれないですが、チラシを作るプロセスを含むことで、どのような商品(商売)を提供したいかを整理することもできるのではないのでしょうか。伝えたいという気持ちが良い。
後半:今までで一番役に立った。Web は、私の経験上間違いなく、担当従業員を抱えるか、結局有料(業者)に頼む必要がある内容でした。やはり、始めから法人化(しかもそれなりの規模)された企業には良いかもしれませんが…。あと、横文字が多いのがどうか?と思いました。前半が具体的、後半は広告をうつなど、わかるのだが非現実的な話しが多かったと思います。(40代 男性)
- 地域資源を利用して、起業創業した成功例、具体例。出来ればアイデアを生かし、低資金で成功出来た私達が身近に感じられる事例があれば教材に取り入れてほしい。(40代 男性)
- 私自身もっとレベルアップして、新たにセミナーを受けたら良くわかったと思う。(60代 女性)
- 農業経理分野の社員育成が必要だと感じた。(40代 女性)
- 創業するにあたっての厨房や保険所などの手続きや注意する事、金額などを取り上げてほしい。(30代 男性)
- 大成功成し遂げた企業主の先輩の話などを聞きたい。(60代 男性)